

フランス デジタルガバンメント戦略 11 月

[VE センター](#)

1. 背景

・基本データ([JETROデータ](#))

国土: 54 万 4,000 平方キロメートル(仏本土、仏国立統計経済研究所)
(日本の約 1.4 倍)

人口: 約 6,706 万人(2020 年 1 月 1 日、仏国立統計経済研究所)

政治体制: 共和制

一人当たりの国民所得 41,760 米ドル(2019 年, IMF)

GDP(名目): 2,7070 兆米ドル(2019 年, IMF)

失業率(%) (INEGI): 8.4(2019 年 IMF)

・[国連の世界幸福度ランキング 2020](#): 24 位

・[早稲田大学世界電子政府進捗度ランキング: 2018\(19 位\)](#)

・[OECD Open Government Data 2019](#): 2 位

・[Global Competitiveness Index 4.0 \(World Economic Forum\)](#) 2018 (17 位)

: ウイルス死亡数

フランス ウイルス死亡数(2020.10.26 現在): 100 万人当たり(529 人): 世界で 6 位

[COVID-19 Dashboard by the Center for Systems Science and Engineering \(CSSE\) at Johns Hopkins University](#) (2020.10.15)

[フランス 新型コロナで非常事態宣言 パリなどで夜間外出禁止へデジタルガバンメント戦略](#)

1) 戦略 1: デジタル体制づくり 2013–2018、2019–2024

[2019–2021 Strategic Plan](#)

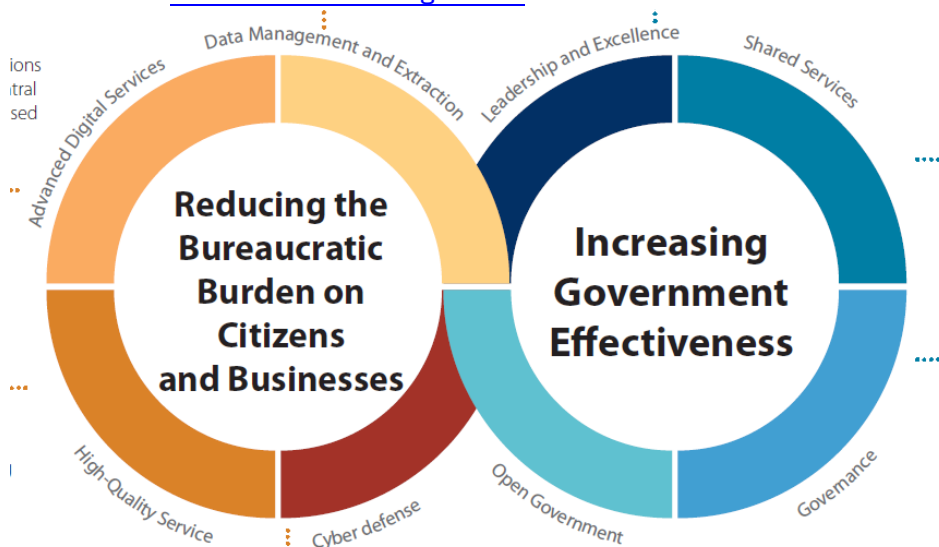


図 1 フランスデジタルガバンメント戦略

1. ビジョン

市民と企業を中心に据えた一つの市民中心の政府として機能することを可能にする。

2. 戦略

戦略目的 1. 高度なデジタルサービス(Advanced Digital Services)

政府サービスの開発においては、ユーザーフレンドリーで効果的かつ信頼性の高いデジタル・サービスの開発が優先する(デジタル・ファースト)。

戦略目的 2. 共有サービス(Shared Services)

政府機関の IT 部門のサービスやコンポーネントを共有コンポーネントにする。同時に、IT 部門による政府横断的な利用（一度開発すれば多くの人に利用される）を促進するために、共有技術コンポーネント、アプリケーション、プラットフォーム、およびインフラストラクチャを開発する。

戦略目的 3 データの管理と編集 (Data Management and Extraction)

政府のデータの重要性を認識し、政府の最高データ責任者の新しい基準を作成した。役職名は政府データ・アーキテクチャ・ディレクターと呼ばれることになる。データ利用の標準化と指示の作成、中心となるデータエンティティの定義、データベースのシステムの設計、データ駆動型のポリシー。

戦略目的 4 リーダーシップと卓越性 (Leadership and Excellence)

質の高い人材を育成するため活動・インフラ・事業を創出し、技術・イノベーション・創造性の最前線で質の高い人材の誘致・育成する。また、政府 ICT の知識やスキルが技術開発の速度に合わせて適応されるように、キャリアトレーニングを行う。

戦略目的 5 高品質なサービス (High-Quality Service)

当局は以下の手段で高品質のサービス提供を促進する。高度なサービスポリシー、基準とサービスレベルの設定、サービスのプロフェッショナリズムの推進、サービス分野の変化に対応するリーダーシップとパートナーシップ、情報の公開、サービス品質の測定。

戦略目的 6 オープンガバメント (Open Government)

2012 年にイスラエル政府が参加したオープンガバメント・パートナーシップ (OGP) で決定されたオープンガバメントの原則を推進する。公共の監視を強化し、政府の業務の透明性を拡大し、説明責任を果たし、計画とパフォーマンスのプロセスを国民と共有する。

戦略目的 7 サイバー防衛 (Cyber Defense) YAHAV (ヘブライ語で政府のサイバー防衛部隊の頭文字をとったもの) は、各省庁・機関の指導機関として、指示・監督により省庁手続きのインフラを整備しながら、主要なサイバー防御プロセスの実施に取り組む。YAHAV は、サイバー脅威に対処する政府の SOC (セキュリティ・オペレーション・センター) を設置して、サイバー防衛の日常的な状況評価を策定し、サイバー事件への対応を行う。また、デジタルシステムのライフサイクル全体におけるサイバーセキュリティ、プライバシーの確保、サイバーディフェンス、セキュリティとプライバシーの確保する。

戦略目的 8 ガバナンス (Governance)

各省庁の IT 部門による革新的、先進的、方法論的、効果的、効率的なパフォーマンスで、国民と企業のためのサービスを改善し、政府の仕事をより効率的にする。IT 部門の効率的、革新的、高度な管理をサポートする最新の先進的な政府間標準、方法論、ツールを促進、同化、監督するためのガバナンス・プロセス

実施ツール

1. デジタルガバメント・モデル- ONE-STOP-SHOP
2. 市民中心サービス原理
3. イスラエル デジタルサービスの改良
4. 市民と企業に作成したすべてのサービスの地図
5. 市民と企業のための高度なデジタルサービスの開発
6. 政府ウェブサイト gov.il
7. 紙申請書のデジタル化
8. 支払いサービス
9. セルフサービス・スタンド
10. 政府認証サービス

・ECの評価

[Digital Government Factsheet 2019 France](#)

利用者中心、透明性、国境交通、鍵イネーブラーのすべての基準でEUでトップレベルを示した。

2)戦略 2: デジタルガバナメント体制づくりの評価(OECD)(2016 年)

[OURdata Index](#) 2019: 政府データのオープン性(Data availability)、有用性(Data accessibility)、再利用性(Government support for data reuse)という3つの重要な領域でオープンデータを実装するための政府の取り組みを評価する OECD の指標で 2019 年に OECD 参加国の中で2位となった。これを実施している [Etalab](#)([data.gouv.fr](#))はデータの再利用とエンゲージメントでイノベーションを起こすのが役割でフランス首相室にある [Secrétariat général pour la modernisation de l'action publique\(SGMAP\)](#)のタスクフォースで、オープンデータ政策の開発を監督し、政府横断的な実施の調整を監督する。[Etalab](#) はソーシャルメディア上でデータの再利用者と関わり、国のオープンデータプラットフォーム上でオープンフォーラムを開催し、様々な関係者との定期的なミーティングを開催し、プロモーションイベント(「barcamps」やハッカソンなど)に参加している。フランスは、起業家や市民イノベーターによるデータ再利用の持続可能で革新的なモデルを開発するためのユニークなプロジェクト [DataConnexions](#) プログラムを開始し、デジタル・イノベーション・エコシステムの主要なパートナーを集めている。

3)戦略 3: オープンデータの活用 (Open Government Partnership:OGP)

フランスは 2014 年 4 月からオープンガバメントパートナーシップ(OGP)のメンバーとして、2 年ごとに国の行動計画を発表し、実施することが義務付けられている。2015-2017 年の行動計画では 26 のコミットメントを実施した。[2018-2020 年の行動計画](#)は、12 の省庁、2 つの独立した政府機関、裁判所(Cour des comptes、フランスの公的資金の使途を監査する最高機関、公共生活透明性高等機関/HATVP)、および複数の政府機関(National Cybersecurity Agency/ANSSI、フランスの包括的公共開発銀行/AFD、フランス環境・エネルギー管理庁/ADEME、フランス生物多様性庁/AFB)が関与する 21 のコミットメントを計画している。

この新しい行動計画を 5 つの包括的な部分で支える。

1. 公的・経済的生活における透明性、誠実性、説明責任の実施
2. オープンなデジタルリソースとオープンイノベーションの実施
3. 参加プロセスの充実
4. オープンガバメントの利点を活用して、開発、環境、オープンサイエンスなど、今世紀のグローバルな課題への取り組み
5. 独立した行政機関や裁判所の公開

[2018-2020 年の行動計画](#)

1. 利用者と連携した公共サービスの有効性と質に関する透明性の向上
2. 公共調達透明性の向上
3. 公的開発援助の透明性の向上
4. サービスとしての公開データを充実させる: 参照データの新しいリストに向けて
5. データ管理者を任命し、「[デフォルトでオープン](#)」の原則の実施を支援する
6. 公開アルゴリズムやソースコードの透明性を高める
7. デフォルトでの[オープンデータ原則](#)の実施に向けた地方の支援
8. 国のためにオープンな人工知能(AI)ラボを設置
9. 新しいスキルを行政に取り込み、政府のオープンイノベーションの取り組みを支援する。

- 10.各省庁にデジタル公共サービスのインキュベーターを設置する。
- 11.[FranceConnect](#) Plateforme を使用して、国内のデータフローを合理化する。
- 12.市民社会との意見交換のための新しいフォーマットの開発:[「オープン・デター」フォーラム](#)
- 13.オンライン手続きのオープンで参加型のダッシュボードの設定
- 14.フランスで[国際 GovTech サミット](#)を開催
- 15.行政に市民を公的な意思決定に結びつけるためのツールを提供する
- 16.国際レベルでの透明性と市民参加の原則の実施を支援する。
- 17.市民に精査の権限を与え、エネルギー移行と持続可能な開発に関する公的決定に関与できるようにする。
- 18.[オープンサイエンス](#)のエコシステムを開発する
- 19.監査裁判所 [Court des comptes](#) が実施する業務に市民に関与を求める
- 20.公益の代表者の活動の透明性の確保
- 21.選出された代表者や公務員に関する公開情報へのアクセスの改善

4) 戦略 4: データのAI利用

[フランスの AI 戦略](#)

国家戦略は主に、前日に発表されたレポート「[意味のある人工知能のために: フランスとヨーロッパの戦略に向けて](#)」(2018 年 3 月)からの推奨に基づいている。同時に、フランスの首相に所属する戦略部門である [FranceStratégie](#) は、[AI と仕事の未来に関するレポート](#)を 発表した。この [AI に関する Villani レポート](#)の主要な提案

[1.積極的なデータポリシーの開発](#)

[2.4つの戦略的セクターをターゲットにする](#)

[3.フランスの研究の可能性を高める](#)

[4.AI が労働に与える影響の計画](#)

次の 3 つの新しいトレーニングモデルを計画してテストする必要がある。

1) 仕事の変革に関する公的研究所を設立する

仕事の変革に関する公的研究所の創設は、自動化が職業を変えている方法についての考察を促す。また、特に自動化の影響を最も受けそうなツールについて、専門的な移行をサポートするツールをテストする。

2) 人間と機械の間の相補性を開発する

将来の労働条件を改善するために、リフレクシオンは企業の「補完性指数」の開発に焦点を当て、社会的対話にデジタル移行のすべての側面を含める必要がある。これは、自動化された時代の労働条件に関する立法プロジェクトにつながる可能性がある。

3) 職業訓練のための新しい資金調達方法をテストする

このテストにより、バリューチェーンに対する AI 関連の変更に対処できるようになる。現在、企業は自社の従業員の職業訓練に資金を提供している。ただし、デジタルトランスフォーメーションについては、価値を獲得し、タスクの自動化で重要な役割を果たすが、従業員の職業訓練への資金提供には役立たない他のアクターを呼び出すことがよくある。したがって、新しい資金調達方法は、社会的対話を通じてテストされなければならない。

[5.AI をより環境に優しいものにする](#)

[6.AI のブラックボックスを開く](#)

[7.AI が包括性と多様性をサポートすることを保証する](#)

5) 戦略 5: AIとの共生づくり

[5G European 5G Observatory](#)

5G と前世代のセルラーネットワーク(3G および LTE / 4G)の主な違いの 1 つは、モノのインターネット(IoT)を可能にするマシンタイプの通信に重点を置いている。5G は、既存の LTE 周波数範囲(600 MHz～6 GHz)をカバーするスペクトルを新しいミリ波帯域(24～86 GHz)と組み合わせて使用し、低遅延、高スループット、高モビリティ、高接続密度などの主要機能を網羅する。したがって、5G の機能は、モバイルブロードバンドをはるかに超えて拡張され、データレートは増え続ける。2016 年 9 月に、欧州委員会は、2020 年までに 5G インフラストラクチャとサービスを構築する [5G アクションプラン](#)を発表した。そして、5G アクションプランの進捗状況を監視するために、同委員会は 2018 年に [European 5G Observatory](#) を立ち上げた。これは、グローバルな観点からヨーロッパの主要な市場動向に関する監視ツールである。

1. ビジョン

5G は、リアルタイムのデータ収集と分析を提供するため、[人工知能](#)システムの「目と耳」にする。

2. 戦略

- 1) ラジオ周波数の無料化と割り当てを行う。
- 2) 新しい用途の開発を支援する(IoT など)。
- 3) 5G インフラストラクチャー・ロールアウトを支援する。
- 4) 透明性の確保、ロールアウトに関する対話、国民へ電磁波被爆防止を実施する。